

廃棄物分野の技術やノウハウを有する企業を募集します！ ベトナム国ダナン市の廃棄物課題の解決に向け、公民連携で取り組みましょう！

横浜市は、ベトナム国ダナン市との都市間協力^{*1}のもと、公民連携による国際技術協力（Y-PORT 事業）を進めています。

ダナン市の廃棄物課題^{*2}の解決に向け、まずは、ダナン市民によるごみ分別とリサイクルを促進するため、JICA 草の根技術協力事業^{*3}において、ダナン市・地球環境戦略研究機関（IGES）・横浜市の3者により、モデル事業の実施に向けた準備を行っているところです。

今回、企業の皆様にも、この事業にご参加いただき、ダナン市への現地派遣や視察受入時に、廃棄物分野の技術やノウハウをPRしていただく場を設けることになりました。

ぜひ、奮ってご応募ください！

1 活動概要（期間：平成29～31年度）

- (1) 現地調査への参加、現地ミーティングにおける技術的アドバイス等
※年2～3回、1回の現地活動は1週間程度を想定
※渡航費等の費用について、JICA 規定に基づき IGES から支給
- (2) 横浜市内で開催する研修における廃棄物関連業務の紹介や施設見学の受入等
※年1回、1日を予定

2 応募要項・資格等

以下のリンクからご確認ください。

URL: <http://www.city.yokohama.lg.jp/shigen/sub-ijigo/>

※本事業への参加企業は10社を上限に選定します。

3 今後の予定

- 平成29年4月21日（金）【必着】：応募締め切り
5月19日（金）：企業決定・通知
6月：横浜市内における技術研修の開催（予定）
7月：第1回現地派遣（予定）



ベトナム国ダナン市



ダナン市 廃棄物最終処分場

*1 横浜市とダナン市とのこれまでの都市間協力について

2013年4月に都市間の技術協力の覚書を締結。2014年12月に、両市及びJICAとの3者で「ダナン都市開発フォーラム」を設立して以来、廃棄物を含む様々な都市課題の解決に向け、都市開発アクションプランの策定支援などを進めている。2016年12月に開催された「第5回ダナン都市開発フォーラム」では、ごみ分別を促進するモデル事業を推進していくため、横浜市・ダナン市・IGES・JICAの4者による合意文書への署名を行っている。

*2 ダナン市の廃棄物課題

ダナン市では、急速な人口増加等により廃棄物の排出量が急増し、現行の廃棄物最終処分場は、2019年には容量が不足すると予測されており、分別・リサイクルの推進による、ごみ量の削減が喫緊の課題となっている。

*3 JICA草の根技術協力事業

国際協力の意志を持つ日本のNGO、大学、地方自治体等による、開発途上国の地域住民を対象とした協力活動を、JICAが政府開発援助（ODA）の一環として、促進し助長することを目的に行う事業。

【採択を受けた事業名称】家庭系廃棄物の分別促進モデル事業～ヨコハマG30/3R夢（スリム）の水平展開～

お問合せ先

（企業等の募集について）	資源循環局資源政策課長	中坪 学一	Tel 045-671-2537
（Y-PORT 事業全般について）	国際局国際技術協力担当課長	奥野 雅量	Tel 045-671-4703